

# SHIBUYA CULTURAL DISTRICT INITIATIVE

渋谷カルチャーディストリクト構想 ～取組状況と今後の展望～

2026年3月3日  
渋谷カルチャーディストリクト協議会

# Agenda



1. 渋谷区の観光課題
2. 渋谷区のナイトタイム観光の強み
3. カルチャーディストリクト構想事業について
4. 今後の事業展開と未来への展望
5. 採択エリアとしての事業運営課題

# 1. 渋谷区の観光課題 a. 観光客の集中と路上飲酒・喫煙等風紀の悪化

近年外国人観光客はコロナ前を大きく上回り、ハロウィーン当日は駅前バリケードを組むなど対策を強化せざるを得ない状況。

年度	ハロウィーン期間中の渋谷区からのメッセージ
2024	ハロウィーン目的での来訪自粛呼びかけ ■渋谷は、ハロウィーンをお休みします。
2023	ハロウィーン目的での来訪自粛呼びかけ・外国人記者クラブ記者会見 ■【注意】渋谷はハロウィーンイベントの会場ではありません。
2022	飲食などを目的に渋谷に来る方には通常通り楽しんで！ハロウィーン目的での来訪者にはルールを守ることを強く求める。 ■ルールを守る人は、渋谷を守る人。 「ハロウィーンの渋谷みたい」そんな例えが、良い意味で使われる日が来ますように。
2021	ハロウィーンは自宅で楽しむことと渋谷に来る際はモラルを持って行動することを呼びかけ ■迷惑がかかる行為はやめようね！（名探偵コナン）
2020	感染拡大予防で、大勢の人が集まることを避けるため、外出自粛を呼びかけ ■今年のハロウィーンは、外出自粛モードで安全に！
2019	渋谷を愛し、渋谷にプライドを持つ人たちによってマナーとモラルが守られ、世界に誇れるハロウィーンの実現を目指す ■SHIBUYA PRIDE SHIBUYA HALLOWEEN ハロウィーンを渋谷の誇りに

※ 2018年10月、軽トラック横転事故ほか、痴漢や盗撮、暴行、窃盗などで逮捕、書類送検

**NO**  
DRINKING  
ON THE STREET.  
18:00-22:00

渋谷に、  
路上でお酒を飲む  
文化はありません。



**NO**  
SMOKING  
ON THE STREET.

路上喫煙。  
人の多い渋谷では、  
危険行為です。



**NO**

渋谷は、  
ハロウィーンを  
お休みします。

NO EVENTS  
FOR HALLOWEEN  
ON SHIBUYA STREETS.



# 1. 渋谷区の観光課題 b. オーバーツーリズム問題に対する防御メインの対応策

## コロナ禍

- ナイトタイム事業者・文化エンタメ施設向け支援を実施  
(換気対策等の支援グッズの配布)
- 文化・エンタメ施設調査を実施(別紙レポート参照)
- カルチャーマップ制作

## 2023 - 2025

- コロナや再開による大型のエンタメ施設の閉鎖。  
地価高騰により再開の道が阻まれている。
- ハロウィーン・カウントダウンなど、インバウンド等の集中による雑踏事故や治安対策など守りの対策に注力。
- 終電時間繰り下げや夜間営業店舗減少による、路上飲酒問題の顕在化。→条例制定。



# 1. 渋谷区の観光課題 c. ナイトタイム観光の課題

- スクランブル交差点にインバウンド観光客が集まる一方、中心街に偏った表層的な認知に止まっており、  
周辺エリアへの回遊や 分散化を促す取り組みが必要。
- 駅周辺は100年に1度と言われる再開発の途上にあるが地価高騰で閉業を余儀なくされる文化施設も多い。都市開発による価値創造だけではなく、渋谷エリアの中で愛され育まれてきた  
中小の文化・エンターテインメント施設とそのコンテンツの魅力を 保全・発信する必要。



**守り一辺倒から、渋谷のナイトカルチャーという強みを生かした戦略への転換が急務である。**



## 2.渋谷区のナイトタイム観光の強み a.150以上ある文化エンタメ施設

渋谷区文化・エンターテインメント施設調査2022より

### 文化・エンタメ施設を渋谷の文化資源として定義

渋谷区内の文化・エンタメ施設は、150施設以上（2022年9月時点）。

特にDJバーやレコードバーの業態が近年増えてきており、世界的にも注目されている。

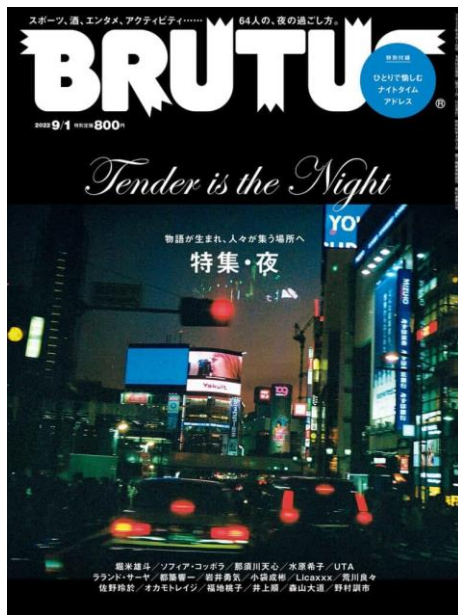
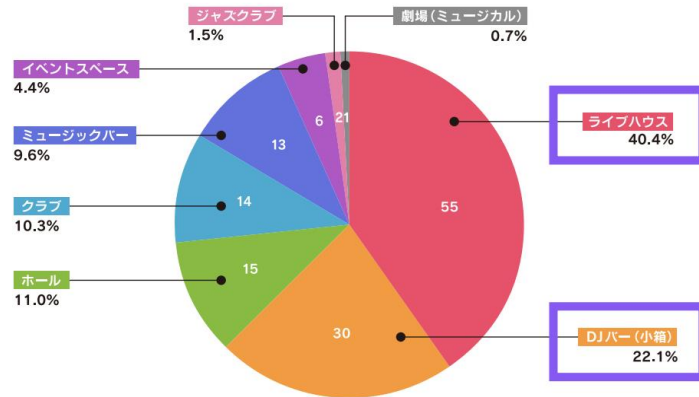
これらの文化・エンタメ施設を渋谷の文化資源として、国際的な認知獲得することが必要。

現在2026年  
調査進行中

渋谷区産業観光文化部が有する区内ライブハウス等音楽施設向け空気清浄機無償配布の施策で集計した施設リストをベースに、エンターテインメント施設に携わる有識者から追加情報を収集し、区内に構えるベニューのおおよその総数を集計、ジャンル別にリスト化した。

※2022年9月時点で集計となります。閉店や新規オープン等の状況変化やカテゴリ分けが難しい業態もございますので実際の総数は前後いたします。ご了承ください。

■ 区内におけるベニュー数 136 施設



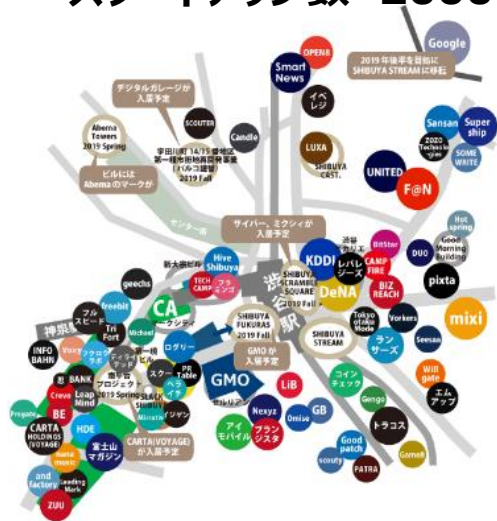
## 2. 渋谷区のナイトタイム観光の強み b. 区の主軸産業であるクリエイティブ産業・テック産業の集積地

クリエイターとテックカルチャーのまち

### クリエイターとテックカルチャーの国際的な発信拠点

寛容で新しい文化の発信基地となった渋谷が今、世界のスタートアップが集まる場となりつつある。

スタートアップ数 2000+



10+ 外資巨大テック企業



150+ 文化エンタメ施設



100+ コワーキングスペース



28% クリエイティブ  
コンテンツ産業事業者



## 2. 渋谷区のナイトタイム観光の強み c.100年に一度の都市開発

### 2026 and Beyond... 100年に一度の都市開発の途上の中で

開発によって新設されるホールや広場空間と、周辺の文化エンタメ施設、それをつなぐ公共空間・ストリートが一体となって、**国際競争力のある都市**にしていかなければならない。



# Shibuya Cultural District Initiative

渋谷カルチャーディストリクト：渋谷の夜から、国際都市としての固有の文化政策を

渋谷に点在する個性豊かな150以上のナイトタイム文化施設を地域の貴重な文化的な資産と再定義し、渋谷におけるナイトタイムを中心とした文化・エンターテインメントの価値を再評価。

渋谷駅周辺から各エリアへ繋がる文化ネットワークを可視化し、戦略的な価値向上をはかり、国際的な認知を獲得する。

地域の文化施設の事業者、地元のステークホルダー、再開発の担い手とともに、渋谷の都市戦略として文化ゾーニング・政策へと昇華させる中長期ビジョンを作る。

### 3. カルチャーディストリクト構想事業 a. 美化・安全安心なまちづくり

地域住民や事業者の意見収集や合意形成の手法を取り入れ、  
**夜の街の美化や安心安全の為の取組を検討する。**



→  
ソーシャルイノベーションウィーク2025での、  
渋谷の美化・清掃に関するワークショップ



【海外事例】

- ・ ウェストミンスター区は、2025～2040年を対象に、**夜間（18時～翌6時）の都市戦略「Westminster After Dark」戦略を策定。**
- ・ 取組は「安全」「アクセシビリティ」「文化・コミュニティ」「経済」「環境」の5つを柱としている。

#### イギリス・ウェストミンスター区 取組事例

##### インタラクティブな意見共有基盤の整備

- ・ エリアやテーマ別に投稿できるインタラクティブなプラットフォーム「Commonplace」を活用し、様々な意見を可視化・分析できる仕組みを整備した。

##### 多様な関係者が一堂に集まる会合の設置

- ・ 幅広い関係者が議論をする「ステークホルダー・アセンブリー」を設置。偏りのない代表性を確保するため、**抽選により人口構成を反映した50名を選出した。**

#### 取組による成果

##### 多様な参加と意見反映

- ・ 「Commonplace」には、20万人以上が訪問し、2万件超の意見が投稿され、**従来参加が少なかった層の意見を反映することができた。**

##### 「すべての声が届く」信頼醸成

- ・ 参加者の**78%が「有益」、85%が夜間経済を前向きに捉えるよう変化。**「すべての人が声をもち、意見を言えた」との声が多く、**各ステークホルダー間の信頼関係が深まった。**

取組①  
Common place

取組②  
ステークホルダー  
・アセンブリー



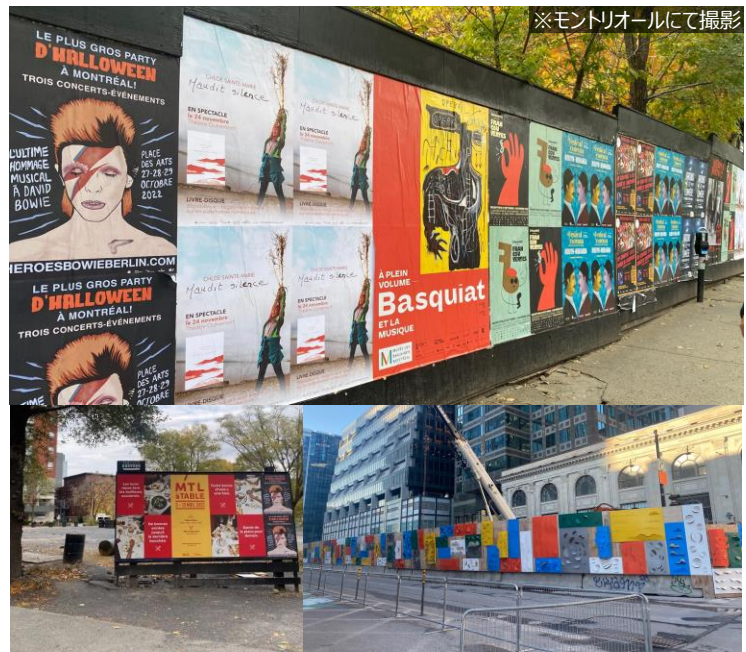
### 3. カルチャーディストリクト構想事業 b.文化・エンタメ・コンテンツ・テックの聖地としての情報発信

デジタルサイネージ、屋外ポスターボードや工事仮囲いの掲出枠を確保し、文化・興行に関する情報を発信することで、  
**通行者に対するベニューや文化的コンテンツの認知拡大を図る。**  
あわせて、コンテンツはSNSやウェブ媒体と連動させる

渋谷でのプロモーション参考事例：DIG SHIBUYA2025



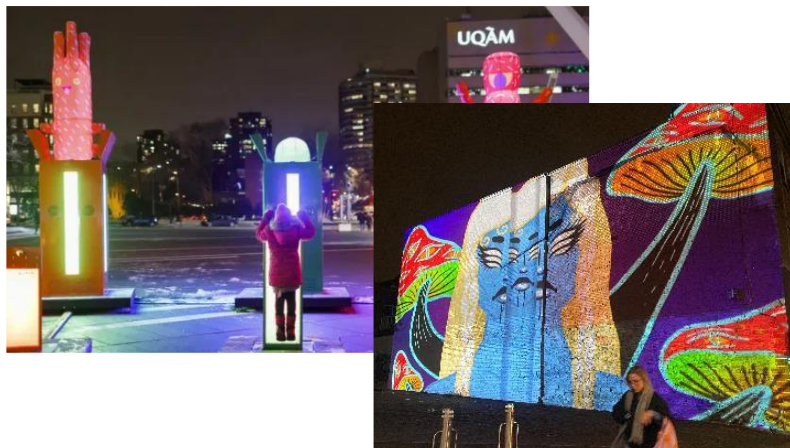
屋外ポスターボード・工事仮囲い（カルチャーボード・サイネージ）



### 3. カルチャーディストリクト構想事業 c. 回遊促進 Quartier des Spectacles (モントリオール) の事例

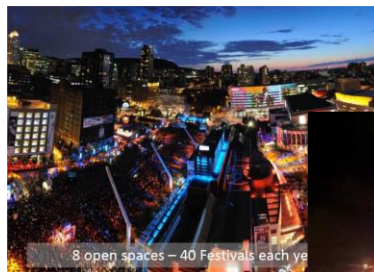
カナダ ケベック州モントリオール市では、夜間利用を前提とした都市設計と、通年で展開される文化イベントにより、**特定日だけでなく日常的に夜の回遊を創出している。**

#### 夜間を前提にした都市設計



- 広場、歩行者動線、照明、デジタルアートなどが夜間利用を前提に設計
- 常設の光の演出やプロジェクションにより、イベントがない日でも夜の回遊性と滞留を創出

#### 文化イベントが年間を通じて継続的に展開



#### FESTIVALS AND EVENTS IN MONTREAL

Discover the events and festivals that make the Quartier des Spectacles, the cultural heart of Montreal, alive.

TOUTE L'ANNEE, MONTREAL JOYE! FROM NOVEMBER 15 TO NOVEMBER 30	ART GOUVERNAIR (CREER DES JOYEUX) FROM MAY 22 TO NOVEMBER 30
INTERNATIONAL PROJECTION MAPPING FESTIVAL - MAPS_360° FROM SEPTEMBER 21 TO NOVEMBER 18	FESTIVAL DU MONDE ARABE DE MONTREAL FROM OCTOBER 29 TO NOVEMBER 12
FRANCOPHONE FILMS FESTIVAL CINEMAMA FROM NOVEMBER 7 TO 13	SI FOR MONTREAL FROM NOVEMBER 7 TO 20
COUP DE CŒUR FRANCOPHONE FROM NOVEMBER 5 TO 15	MONTREAL BACK FESTIVAL FROM NOVEMBER 6 TO NOVEMBER 8
MUNDIAL MONTREAL FROM NOVEMBER 15 TO 18	SI-MONTREAL INTERNATIONAL DOCUMENTARY FESTIVAL FROM NOVEMBER 17 TO 21
IMAGE-NATION FESTIVAL FILM LGBTQUEER MONTREAL FROM NOVEMBER 17 TO 21	SI-MONTREAL CHRISTMAS MARKET! FROM NOVEMBER 18 TO NOVEMBER 21
YOUR HOLIDAY DESTINATION FROM NOVEMBER 7 TO 21 TO JANUARY 18, 2025	

- 年間を通じて音楽・演劇・映画・メディアアートなど多数のフェスティバルを開催
- 特定日だけ賑わうのではなく、「夜に何かが起きている状態」を継続的につづけている点が特徴

### 3.カルチャーディストリクト構想事業 c. 回遊促進

ナイトタイムにおける主要な導線を、来街者が巡り歩きながら体験できるガイド型アトラクションとして設計する。グリーンと音の演出により、街全体の回遊性とナイトタイムの統一感を創出する。

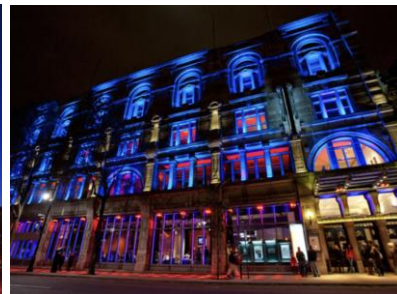
- ① LIGHTING SIGNATURE:  
導線上のストリートに誘導の象徴的なグリーンライトを投射（常設化を目指す）



- ② ARCHITECTURAL VIDEO PROJECTIONS:  
導線をつなぐキーエリアにプロジェクションなど光のオブジェ設置



- ③ ARCHITECTURAL LIGHTS:  
建築物のライトアップ



## 4. 今後の事業展開と未来への展望 a.年間グローバルイベントカレンダー作成

### クリエイティブ・文化・エンタメ産業の大型国際イベントの招致・連携活動

年間通じてグローバルカレンダーに載るイベントを定期開催を目指す。

また、ナイトタイムエコミーのアフターパーティー需要を促進する。インバウンドが多く集まる招致イベントと連携し渋谷のナイトタイムのPRを行う。

### Festivals and Events in SHIBUYA 2026以降の誘致連携イメージ



アート&テックイベント連携



新規イベント誘致・支援



MUTEK  
連携プロジェクト実施予定



東京都国際文化  
芸術祭との連携



イルミネーションと  
の連携したナイト  
タイム景観づくり

大型国際イベントとの連携(例)



SIW

海外クリエイティブ産業・関連イベントの誘致



夜間観光  
案内所と  
の連携

時期未定・過去の連携実績・連携候補(例)

## 4. 今後の事業展開と未来への展望 b. 文化・エンタメ産業の育成

スタートアップ施設や文化施設で世界とつながり、コミュニティを育む取組を行い、  
**商談会やマッチングを同時開催。文化・エンタメ産業の育成を図る。**

### 海外事例：HUB Montreal (ケベック州・クリエイティブ産業商談・情報共有イベント)

デジタル・アート産業見本市に世界中からクリエイターやテック企業、文化施設のマルチメディア担当が集い情報交換・ビジネスマッチングを行う。メディア、VC/CVC、スタートアップ、大手エンタメ事業者などが世界中から集まる。

パネルセッション



ビジネスマッチング



1on1(面談)



カクテルイベント



アフターパーティー



## 4. 今後の事業展開と未来への展望 c. ナイトタイム観光施策から産業・文化施策への広がり

ナイトタイム観光施策を通して、文化・テック産業の国際競争力を高め、地域の魅力・価値向上につなげる。

観光政策

ナイトタイム観光施策 (調査・情報発信・エリア回遊施策)

国際エンタメイベント誘致 (Jazz Fes/音楽祭/マンガ・IPイベントなど)

産業政策

MICE・商談会イベント開催  
(マルチメディア・テック・エンタメ産業)

クリエイティブ&テック産業の育成

文化政策

アーティストの活動機会創出

市民の文化活動/鑑賞機会の創出

都市政策

カルチャーディストリクト特区申請  
(広告規制・空地利活用・照明・音規制)

教育政策

クリエイティブ&テクノロジー、アントレプレナー教育

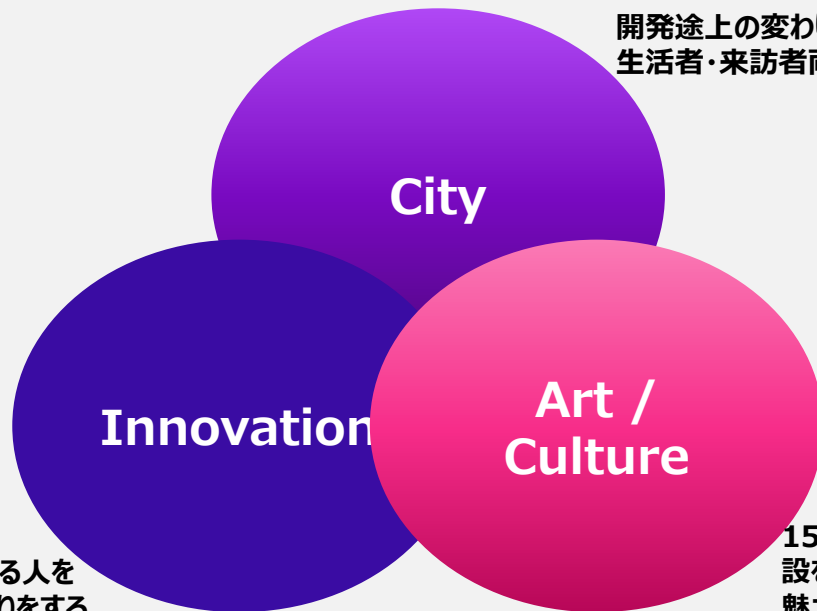


クリエイティブ産業の海外進出

地域の魅力・価値向上

## 4. 今後の事業展開と未来への展望

ナイトタイムを中心とした施策を通して、渋谷ならではの街の景観・文化・暮らしの未来の在り方を考える。



開発途上の変わりゆく渋谷で  
生活者・来訪者両方の体験価値を向上する。

スタートアップなど、  
渋谷でチャレンジする人を  
応援する仕組み作りをする。

150以上の中小の文化・エンタメ施  
設を渋谷の文化的資産と捉え、その  
魅力を国際発信する。

## 5. カルチャーディストリクト構想事業【実施課題】

### 1. 補助終了後の事業展開

一過性のものに終わらせないために、継続して事業を行うためのスキーム作り

### 2. 担い手の不足と負担

事業を推進するには、とりまとめ役や実行役の負担が大きい。  
事業に参画するメリットや、負担軽減の方策も検討する必要がある。